平成 29 年度 厚生労働科学研究費補助金
エイズ対策政策研究事業

「LASH 調査」報告書
2017 年

地域においてHIV陽性者と薬物使用者を支援する研究班

研究要旨

これまでの HIV 陽性の MSM（男性とセックスを行う男性 /Men who have Sex with Men）を対象にした研究から、MSM の薬物使用と性行動には密接なつながりがあり、ハッテン場やゲイ向けクラブ等での薬物の販売や使用を目撃したり、セックスの相手から勧められたりしたことがきっかけとなって、薬物使用が開始される場合があることが確認されている。また、薬物使用の開始時期の多くは感染判明前であることが明らかになっている。本研究では、MSM の出会いに関連した環境が個人の性行動や薬物使用行動に与える影響を把握することを目的に、多くの MSM が出会いや交流を目的に利用する国内最大のゲイ向けアプリ業者の協力を得て、その利用者にターゲットを絞った調査を行った。

調査協力を得たアプリ上で 1 ヶ月にわたり広告を出稿し、調査の説明サイトへの誘導を行った。そのアクセスは 24,977 人であり、そのうち説明に同意し、回答を試みた者は 10,544 人であった。MSM 向けの出会い系アプリ利用者の特性を把握するのに役立つデータが収集できた。全問（97 問）に回答した者は 72%（7,587 人）であった。そのうち、矛盾回答や重複回答などを除外し、6,921人の回答を分析対象とした。

研究目的

MSM の出会いに関連した環境が個人の性行動や薬物使用行動に与える影響を把握することを目的とし、薬物使用をしない、止める、そして HIV 感染を防ぐ方向に作用する要因を明らかにし、HIV 感染予防を促進するために必要な支援策を探る。

研究方法

web アンケート調査の広報に役立てるため、web「LASH.online」を立ち上げた。このサイトは主にゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、LOVE ライフ、セクシュアルヘルス（性の健康）、メンタルヘルス（こころの健康、薬物使用など）に関する情報を発信している。また、研究成果のフィードバックもこのサイトを通して行う予定である。

【調査期間】

調査期間は、2016 年 9 月 22 日～同年 10 月 22 日であった。

【調査方法】

出会いを目的としたアプリを利用する、ゲイ・バイセクシュアル男性（トランス男性などを含む）を対象に調査を実施した。N 社が運営する国内最大のアプリの起動時にランダムに表示されるバナー広告を有償で出稿し、調査の説明を行うための一般からはアクセスできない限定公開ページに誘導し、同意を得た者に web アンケートを表示した。調査の流れは、N 社が運営するアプリ上に出稿したバナー広告から、調査説明ページ（限定公開ページ）、web アンケートであった。

今回の調査で協力を得た N 社が運営するゲイ向け出会い系アプリは国内最大で、日本全国及びアジアに 26 万人の会員がおり、アクティブユーザーは 15 万人だという。また、責任者によると、国内ユーザーが 6 割で、10 代～ 20 代のユーザーが半分を占めるという。このアプリ運営者に宣伝段階から協力を依頼した。

調査項目については次頁に掲載する。

【調査項目】

属性

Q 1. 性別
Q 2. セクシュアリティ
Q 3. トランス・ゲイ男性との交流経験
Q 4. 年齢
Q 5. 居住地
Q 6. 国籍
Q 7. 学歴
Q 8. 主な職業
Q 9. 性の興味の対象

パートナーシップ制度の利用

Q 10. 結婚やパートナーシップ
Q 11. パートナーシップ制度の利用意向

思春期

Q 13. セックスの初体験の時期
Q 14. 初めて友達ができた時期
Q 15. 初めて恋人ができた時期

パートナーシップと性行動

Q 12. 過去 6 ヵ月間に利用（参加）したツール / 施設 / グループなど
Q 16. 過去 6 ヵ月間のセックスの人数
Q 17. 過去 6 ヵ月間の複数でのセックスの経験
Q 18. 出会いの場面での態度
Q 19. セックスの相手選びで重視すること
Q 20. パートナー選びで重視すること
Q 21. 過去の最長の交際期間
Q 22. 恋愛とセックスのイメージ

性行動と予防行動（その場限り / 過去 6 ヵ月）

Q 23. セックスの相手の有無
Q 24. 直近の相手と知り合ったきっかけ
Q 25. 過去 6 ヵ月間にした行為
Q 26. コンドームなしフェラチオ
Q 27. アナルセックスの有無
Q 28.「その場限りの相手」とのアナルセックスとコンドーム使用頻度

性行動と予防行動（セフレ / 過去 6 ヵ月）

Q 29. セックスの相手の有無
Q 30. 直近の相手と知り合ったきっかけ
Q 31. 過去 6 ヵ月間にした行為
Q 32. コンドームなしフェラチオ
Q 33. アナルセックスの有無
Q 34.「セフレ」とのアナルセックスとコンドーム使用頻度

性行動と予防行動（パートナー / 過去 6 ヵ月）

Q 35. パートナーの有無
Q 36. 直近の相手と知り合ったきっかけ
Q 37. 過去 6 ヵ月間にした行為
Q 38. コンドームなしフェラチオ
Q 39. アナルセックスの有無
Q 40.「パートナー」とのアナルセックスとコンドーム使用頻度

HIV 検査に関する会話 / セロソーティング

Q 41. セックスの相手から検査結果を質問された経験
Q 42. セックスの相手に検査結果を伝えた経験
Q 43. セックスの相手から HIV 検査結果を伝えられた経験
Q 44. 過去 6 ヵ月間にコンドームなしのアナルセックスをした経験
Q 45. 過去 6 ヵ月間のセロソーティング等（陰性同士、陽性同士、治療の効果を確認など）

HIV 検査行動

Q 46. 過去の受検行動の有無
Q 47. 最後に受けた検査の時期
Q 48. 検査結果
Q 49. 受けない理由

性行動と予防行動（その他）

Q 50. 過去 6 ヵ月間の受け手側（ウケ）のアナルセックスの回数
Q 51. これまでの HIV 陽性の男性のセックスの相手の人数
Q 52. 過去 6 ヵ月間の HIV 陽性の男性との挿入側（タチ）アナルセックスの回数

PrEP（HIV 暴露前予防）/ PEP（HIV 暴露後予防）の意識

Q 53. PrEP の認知
Q 54. PrEP の服薬希望
Q 55. PrEP の服用で気になること
Q 56. PrEP のコンドーム使用への影響
Q 57. PEP の認知
Q 58. PEP の服薬希望

HIV の意識

Q 59. HIV の身近感
Q 60. HIV 陽性者の友達や知人の有無
Q 61. HIV の流行の中心が男性同性間のセックスである認識
Q 62. HIV 陽性であるかないかの話しやすさ

基本知識　10 問

Q 63. 治療とウイルス量の変化、性感染症と HIV 感染の関連、早期治療の重要性、医療費助成制度の存在、検出限界以下だと感染は起こりにくい、知らずにいると誰かにウイルスを渡す、オーラルセックスのリスク、男性同性間のセックスが主要感染経路、コンドームが感染症に有効、プライバシーは守られる

嗜好品

Q 64. 過去 6 ヵ月間の喫煙
Q 65. 過去 6 ヵ月間の飲酒

薬物使用についての意識 / 行動

Q 66. ドラッグ・薬物使用の話題の話しやすさ
Q 67. ドラッグ・薬物使用のイメージ
Q 68. ドラッグ・薬物使用の目撃経験
Q 69. ドラッグ・薬物使用の被誘惑経験
Q 70. ドラッグ・薬物の使用経験
Q 71. ドラッグ・薬物の最終使用時期
Q 72. 初めてのドラッグ・薬物使用の場所
Q 73. 初めてのドラッグ・薬物使用の相手
Q 74. ドラッグ・薬物の使用開始年齢
Q 75. ドラッグ・薬物使用の状況
Q 76. ドラッグや薬物を使う理由
Q 77. ドラッグや薬物を使わない理由

ストレスと対処行動

Q 78. 悩みやストレスの有無
Q 79. 悩みやストレスの内容
Q 80. 相談行動
Q 81. ストレスへの対処行動

人間関係やネットワーク

Q 82. 当事者の友人と知り合った方法
Q 83. 親へのカミングアウト経験
Q 84. 職場 / 学校でのカミングアウト
Q 85. 心を許せるゲイ・バイセクシュアルの友達の有無
Q 86. 心を許せるレズビアンの友達の有無
Q 87. 心を許せるトランスジェンダーの友達の有無
Q 88. 心を許せる異性愛者の友達の有無

自己肯定感

Q 89. 性のめざめ時、現在の肯定感
Q 90. 自身の自己評価が上がったこと

ストレス・スクリーニング尺度 (K6)

Q 91. ストレスに関する6つの質問

Sexual Compulsivity スケール日本語版 Ver.1

Q 92. 性的な行動、依存や脅迫的な傾向に関する 10 の質問
Q 93. 過去6ヵ月間の性に関する行動と日常生活への影響

いじめ経験 / トラウマ体験

Q 94. 子どもの頃のいじめ (セクシュアリティを理由としたもの、それ以外)
Q 95. 虐待、ネグレクト、家族内の依存症者、家族内の自殺者など、子ども期の逆境体験の有無
Q 96. 性被害 (12 歳以前、思春期以降)、被脅迫、脅しの経験

その他の経験

Q 97. 職務質問をうけた、逮捕された、住む場所がない、セックスワークの経験

【広報】

「なぜなにアンケート LOVE & SEX 調査」とタイトルをつけ、調査の広報の制作には、アプリ業社 N による協力を得た。バナー広告は 5 回に分けて、表示地域を日本国内に限定して、有償で出稿した。調査開始前の 1 週間にわたり、「LASH.online」の宣伝を行った。その後の調査に関する 4 回の広告出稿はデザインを変更しつつ、関心を高める働きかけを行った。

LASH 広報

第 1 週バナー広告

第 2 週バナー広告

第 3 週バナー広告

第 4 週バナー広告

被写体のモデルは、N 社の協力により、N 社登録のイメージモデルから 3 人をリクルートし、有償でイメージモデルを務めてもらった。また、バナー広告には、回答者に安心してもらうため、「LASH.online」と N 社のロゴマークも配置した。

4 回の広告は、1 回目には、先着 500 人にギフト券 (500 円) をプレゼントする旨が表記されていたが、2 日間で予定数に達したため、2 回目以降からは、プレゼントに関する記載はせずに出稿した。

また、調査の説明サイトでは調査開始 3 日後にプレゼントが終了したことを告知した。広告には、回答することがよい振り返りになること、回答には約 30 分を要すること、途中で終了した場合でも、回答内容が保存されていることなどを周知した。

(倫理面への配慮)

調査実施に関しては、NPO 法人ぷれいす東京倫理委員会にて審査を受け、承認された。調査協力者には web サイト上で、匿名の調査であること、自由意志による回答で、いつでも回答が止められることなどについて説明を行い、同意を得た。

単純集計結果

結果の読み取りに際して

- 全ての質問に対して無回答者（途中回答放棄者）を除いて集計した。
- 複数回答の質問（1つの質問に対して2つ以上の選択肢を選ぶ質問形式）の場合、回答した人の人数を「全体」で示し、それぞれの選択肢に回答した人数の「全体」に対する割合を「%」で示している。そのため、合計すると100.0%を超える場合がある。

属性

1 性別

Q. 次のうち、あなたの性別を表す表現として最も近いのはどれですか？

	n	%
男性	6824	98.6%
女性	0	0.0%
トランス男性（FtM）	23	0.3%
トランス女性（MtF）	41	0.6%
その他	33	0.5%
合計	6921	100.0%

回答者の98.6%が男性。「トランス男性」、「トランス女性」、「その他」を合わせて1.4%だった。

2 セクシュアリティ

Q. あなたは次のうちどれに一番近いですか？

	n	%
ゲイ	5503	79.5%
バイセクシュアル	1126	16.3%
異性愛者	21	0.3%
決めたくない	139	2.0%
分からない	112	1.6%
その他（具体的に）	20	0.3%
合計	6921	100.0%

「ゲイ」、「バイセクシュアル」合計で95.8%を占め、「決めたくない」、「分からない」と言う回答者も3.6%いた。

3 トランス・ゲイ男性との交流経験

Q. トランス・ゲイ男性に会ったことがありますか？

	n	%
ある	2472	35.7%
ない	3652	52.8%
分からない	589	8.5%
自分がトランス・ゲイ男性である	208	3.0%
合計	6921	100.0%

Q1の回答と矛盾があるため、回答者が「トランス・ゲイ男性」をどのように捉えたのかを検討する必要がある。

4 年齢

Q. 年齢を教えてください。

	n	%
16歳未満	4	0.1%
16 ～ 19歳	221	3.2%
20 ～ 24歳	1133	16.4%
25 ～ 29歳	1354	19.6%
30 ～ 34歳	1121	16.2%
35 ～ 39歳	971	14.0%
40 ～ 44歳	1106	16.0%
45 ～ 49歳	618	8.9%
50 ～ 54歳	273	3.9%
55 ～ 59歳	90	1.3%
60 ～ 64歳	19	0.3%
65 ～ 69歳	6	0.1%
70 ～ 74歳	2	0.0%
75 ～ 79歳以上	3	0.0%
合計	6921	100.0%

10代：3.3%、20代：35.9%、30代：30.2%、40代：24.9%、50歳以上：5.7%であった。10 ～ 30代で約7割を占めた。

5 居住地

Q. お住まいの場所を教えてください。

	n	%
北海道・東北ブロック		
北海道	258	3.7%
青森県	49	0.7%
岩手県	43	0.6%
宮城県	100	1.4%
秋田県	22	0.3%
山形県	28	0.4%
福島県	54	0.8%
関東・甲信越ブロック		
茨城県	102	1.5%
栃木県	83	1.2%
群馬県	59	0.9%
埼玉県	347	5.0%
千葉県	324	4.7%
東京都	1676	24.2%
神奈川県	528	7.6%
新潟県	58	0.8%
山梨県	28	0.4%
長野県	55	0.8%
北陸ブロック		
富山県	38	0.5%
石川県	44	0.6%
福井県	26	0.4%
東海ブロック		
岐阜県	66	1.0%
静岡県	151	2.2%
愛知県	386	5.6%
三重県	65	0.9%
近畿ブロック		
滋賀県	56	0.8%
京都府	141	2.0%
大阪府	655	9.5%
兵庫県	223	3.2%
奈良県	53	0.8%
和歌山県	30	0.4%
中国・四国ブロック		
鳥取県	14	0.2%
島根県	17	0.2%
岡山県	78	1.1%
広島県	84	1.2%
山口県	46	0.7%
徳島県	15	0.2%
香川県	40	0.6%
愛媛県	39	0.6%
高知県	25	0.4%
九州・沖縄ブロック		
福岡県	352	5.1%
佐賀県	20	0.3%
長崎県	42	0.6%
熊本県	52	0.8%
大分県	39	0.6%
宮崎県	48	0.7%
鹿児島県	64	0.9%
沖縄県	167	2.4%
海外	31	0.4%
合計	6921	100.0%

ブロック別で見ると、北海道・東北：8.0%、関東・甲信越：47.1%、北陸:1.6%、東海:9.7%、近畿:16.7%、中国・四国:5.2%、九州・沖縄：11.3%、海外：0.4%であった。

6 国籍

Q. あなたの国籍を教えてください。

	n	%
日本	6782	98.0%
韓国・朝鮮	31	0.4%
中国	43	0.6%
フィリピン	9	0.1%
タイ	1	0.0%
米国	7	0.1%
英国	2	0.0%
ブラジル	11	0.2%
ペルー	4	0.1%
不詳	4	0.1%
台湾*	10	0.1%
その他	17	0.2%
合計	6921	100.0%

*台湾は元々回答選択肢になかったため、「その他」から抽出。国内向け表示によるバナー広告での日本語による調査であったので、回答者の多くが日本国籍だった。

7 学歴

Q. あなたの学歴を教えてください。

	n	%
中学在学中・卒業	230	3.3%
高校在学中・卒業	1585	22.9%
専門在学中・卒業	1020	14.7%
高専在学中・卒業	174	2.5%
短大在学中・卒業	219	3.2%
大学在学中・卒業	3098	44.8%
大学院在学中・修了	581	8.4%
その他	14	0.2%
合計	6921	100.0%

「大学在学中・卒業」、「大学院在学中・卒業」が合わせて5割以上と、高学歴な集団だった。

8 主な職業

Q. 現在の主な職業を教えてください。

	n	%
学生	750	10.8%
企業・団体の役員	144	2.1%
企業・団体の正社員/正職員	3462	50.0%
公務員	495	7.2%
自営業者(個人・家族経営)	493	7.1%
事業主(従業員を雇用)	38	0.5%
パート・アルバイト	587	8.5%
派遣・嘱託・契約社員/職員	615	8.9%
専業主夫	22	0.3%
ゲイ等のためのサービス業	41	0.6%
無職	220	3.2%
その他	54	0.8%
合計	6921	100.0%

「無職」が3.2%と低く、就労者や就学者が多く回答していた。

9 性の興味の対象

Q. 現在のあなたのセックスの興味の対象について伺います。次のどれが一番近いですか?

	n	%
男性だけ	5633	81.4%
男性がメインだが女性も	1043	15.1%
女性がメインだが男性も	82	1.2%
男性と女性と同じくらい	144	2.1%
誰にも性的な興味はない	19	0.3%
合計	6921	100.0%

「男性だけ」という回答が8割、男女とも興味の対象という人が2割近く存在していた。

パートナーシップ制度の利用

10 結婚やパートナシップ

Q. 女性と結婚

	n	%
一度もしたことがない	4091	59.1%
過去にしたことがある	242	3.5%
現在している	345	5.0%
そもそも希望していない	2243	32.4%
合計	6921	100.0%

Q. 女性と友情結婚(訳知りの相手と)

	n	%
一度もしたことがない	4659	67.3%
過去にしたことがある	78	1.1%
現在している	72	1.0%
そもそも希望していない	2112	30.5%
合計	6921	100.0%

Q. 男性と結婚(法的)

	n	%
一度もしたことがない	6073	87.7%
過去にしたことがある	15	0.2%
現在している	17	0.2%
そもそも希望していない	816	11.8%
合計	6921	100.0%

Q. 男性と式を挙げた(国内、海外)

	n	%
一度もしたことがない	5996	86.6%
過去にしたことがある	16	0.2%
現在している	17	0.2%
そもそも希望していない	892	12.9%
合計	6921	100.0%

Q. 男性パートナーと養子縁組

	n	%
一度もしたことがない	5927	85.6%
過去にしたことがある	14	0.2%
現在している	16	0.2%
そもそも希望していない	964	13.9%
合計	6921	100.0%

Q. 国内のパートナーシップ制度の利用

	n	%
一度もしたことがない	6166	89.1%
過去にしたことがある	12	0.2%
現在している	15	0.2%
そもそも希望していない	728	10.5%
合計	6921	100.0%

Q. 男性パートナーと任意後見人制度の利用

	n	%
一度もしたことがない	6132	88.6%
過去にしたことがある	8	0.1%
現在している	9	0.1%
そもそも希望していない	772	11.2%
合計	6921	100.0%

Q. 海外のパートナーシップ登録制度の利用

	n	%
一度もしたことがない	5991	86.6%
過去にしたことがある	15	0.2%
現在している	9	0.1%
そもそも希望していない	906	13.1%
合計	6921	100.0%

女性との結婚は、現在・過去を含め8.5%の割合で経験していた。国内や海外の同性パートナーシップ制度の利用者は少数だった。

11 パートナーシップ制度の利用意向

Q. 国内で何らかの同性パートナーシップの法整備がされた場合、その制度を利用したいと思いますか?

	n	%
はい	2772	40.1%
いいえ	944	13.6%
分からない	3205	46.3%
合計	6921	100.0%

パートナーシップ法が整備された場合、利用意向を持つ人が4割いた。

思春期

13 セックスの初体験の時期

Q. 初めて男性とのセックスを経験したのは何歳くらいの時ですか?

	n	%
10歳未満	109	1.6%
10 ～ 15歳	1027	14.8%
16 ～ 19歳	2458	35.5%
20 ～ 24歳	2125	30.7%
25 ～ 29歳	675	9.8%
30 ～ 34歳	245	3.5%
35 ～ 39歳	95	1.4%
40 ～ 44歳	31	0.4%
45 ～ 49歳	11	0.2%
50 ～ 54歳	4	0.1%
55 ～ 59歳	0	0.0%
60 ～ 64歳	0	0.0%
65 ～ 69歳	0	0.0%
70歳以上	0	0.0%
未経験	141	2.0%
合計	6921	100.0%

初めてセックスをした年齢は、平均20.1歳であった。

14 初めて友達ができた時期

Q. ゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性の友達が初めてできたのは何歳くらいの時ですか?

	n	%
10歳未満	27	0.4%
10 ～ 15歳	426	6.2%
16 ～ 19歳	2070	29.9%
20 ～ 24歳	2376	34.3%
25 ～ 29歳	859	12.4%
30 ～ 34歳	415	6.0%
35 ～ 39歳	156	2.3%
40 ～ 44歳	49	0.7%
45 ～ 49歳	22	0.3%
50 ～ 54歳	5	0.1%
55 ～ 59歳	2	0.0%
60 ～ 64歳	0	0.0%
65 ～ 69歳	1	0.0%
70歳以上	0	0.0%
いたことがない	513	7.4%
合計	6921	100.0%

初めて友達ができた年齢は、平均21.7歳であった。

15 初めて恋人ができた時期

Q. 男性の恋人（以下、パートナー）が初めてできたのは何歳くらいの時ですか？

	n	%
10歳未満	6	0.1%
10 ～ 15歳	170	2.5%
16 ～ 19歳	1472	21.3%
20 ～ 24歳	2192	31.7%
25 ～ 29歳	1030	14.9%
30 ～ 34歳	406	5.9%
35 ～ 39歳	191	2.8%
40 ～ 44歳	68	1.0%
45 ～ 49歳	21	0.3%
50 ～ 54歳	13	0.2%
55 ～ 59歳	1	0.0%
60 ～ 64歳	1	0.0%
65 ～ 69歳	0	0.0%
70歳以上	0	0.0%
いたことがない	1350	19.5%
合計	6921	100.0%

初めて恋人ができた年齢は、平均22.9歳であった。

パートナーシップと性行動

12 過去6ヵ月間に利用（参加）したツール / 施設 / グループなど

Q. 次の中で、過去６ヵ月間で利用・参加したものを全てお答えください。※複数選択可

	n	%
ゲイバー	3330	48.1%
ゲイナイト（クラブ）	1220	17.6%
ゲイショップ	1611	23.3%
インターネットの出会い系サイト	3850	55.6%
twitterなどのSNS	4514	65.2%
スマートフォンのゲイ向けアプリ	6358	91.9%
ゲイ向けサークル	531	7.7%
ゲイ向け合コン	159	2.3%
ゲイ向け乱パ	290	4.2%
有料ハッテン場/野外のハッテン場	2806	40.5%
ハッテン場で有名な公共施設	1331	19.2%
売り専やマッサージ（抜きあり）	740	10.7%
HIVのコミュニティセンター	329	4.8%
いずれもない	78	1.1%
その他	25	0.4%
全体	6921	

インターネットによる出会いが約５割と最も多いが、ゲイバーが48.1%、有料／野外のハッテン場が40.5%と、対面でのコミュニケーションの場もあわせて利用している様子も見られた。

16 過去６ヵ月間のセックスの人数

Q. 過去６ヵ月間の男性のセックスの相手の人数は、何人ですか？

	n	%
0人	613	8.9%
1人	815	11.8%
2 ～ 5人	3015	43.6%
6 ～ 10人	1178	17.0%
11 ～ 20人	708	10.2%
21 ～ 50人	417	6.0%
51人以上	175	2.5%
合計	6921	100.0%

「2～5人」が最も多く43.6%を占めたが、個人による差が大きいことが分かった。

17 過去６ヵ月間の複数でのセックスの経験

Q. 過去６ヵ月間に一度に２人以上の男性とセックスをすることはありましたか？

	n	%
はい	2126	30.7%
いいえ	3419	49.4%
そもそも２人以上のセックスはしない	1376	19.9%
合計	6921	100.0%

複数での性行為も３割が経験していた。

18 出会いの場面での態度

Q. 出会いの場面で、あなたは次のどちらに近いですか？

	n	%
どちらかというと自分から積極的にアプローチするタイプ	1332	19.2%
どちらかというと誰かに声をかけられるのを待つタイプ	2161	31.2%
相手により対応が変わる	3428	49.5%
合計	6921	100.0%

出会いの場面では、自分からアプローチする人が約２割、待っているタイプが約３割という結果であった。

19 セックスの相手選びで重視すること

Q. セックスの相手を決めるときに重視することを選んでください。※複数選択可

	n	%
顔の見た目	5991	86.6%
身体の体型/タイプ	6058	87.5%
ペニスのサイズ・形	1927	27.8%
セックスの相性	3116	45.0%
働き方や収入	347	5.0%
身だしなみやファッションの趣味	1895	27.4%
性格・人柄	3473	50.2%
考え方・価値観	1556	22.5%
そもそもセックスだけの相手を求めていない	521	7.5%
全体	6921	

セックスの相手を決める時に重視する項目は、「身体の体型／タイプ」、「顔の見た目」の順で多かった。

20 パートナー選びで重視すること

Q. パートナーを決めるときに重視することを選んでください。※複数選択可

	n	%
顔の見た目	5246	75.8%
身体の体型/タイプ	4870	70.4%
ペニスのサイズ・形	1184	17.1%
セックスの相性	3178	45.9%
働き方や収入	2709	39.1%
身だしなみやファッションの趣味	3160	45.7%
性格・人柄	6255	90.4%
考え方・価値観	5364	77.5%
そもそもパートナーを求めていない	271	3.9%
全体	6921	

パートナーを決める時に重視する項目は、「性格・人柄」、「考え方・価値観」の順で多かった。

21 過去の最長の交際期間

Q. これまでに一番長く男性と付き合った期間を教えてください。
※現在のパートナーを含む

	n	%
１年未満	1521	22.0%
１年以上～３年未満	1671	24.1%
３年以上～５年未満	851	12.3%
５年以上～10年未満	936	13.5%
10年以上～20年未満	568	8.2%
20年以上～30年未満	65	0.9%
30年以上	13	0.2%
これまでに付き合ったことはない	1296	18.7%
合計	6921	100.0%

最長の交際期間は、３年未満が46.1%だった。

22 恋愛とセックスのイメージ

Q. 現在のあなたの恋愛とセックスのイメージに最も近いものを一つお選びください。
※パートナーの有無に関わらずお答えください。

	n	%
１対１のパートナー関係を重視	2736	39.5%
パートナーは必要だが、性生活は恋愛とは別に割り切って楽しみたい	2753	39.8%
パートナーは不要、性生活だけを楽しみたい	472	6.8%
相手に合わせるので、状況で変わる	960	13.9%
合計	6921	100.0%

1対1のパートナーシップを重視する人と、パートナーシップは不要とする人とに、恋愛のイメージは二分していた。

性行動と予防行動（その場限り / 過去６ヵ月）

23 セックスの相手の有無

Q. 過去６ヵ月間に、「その場限りの相手」はいましたか？

	n	%
いない	1900	27.5%
１人いた	945	13.7%
２人以上いた	4076	58.9%
合計	6921	100.0%

72.5%の人は、過去６ヵ月間に「その場限りの相手」がいた。

24 直近の相手と知り合ったきっかけ

Q. 一番直近の「その場限りの相手」と知り合ったきっかけは？

	n	%
ゲイバー	116	2.3%
ゲイナイト（クラブ）	18	0.4%
ゲイショップ	0	0.0%
インターネットの出会い系サイト	845	16.8%
twitterなどのSNS	222	4.4%
スマートフォンのゲイ向けアプリ	2193	43.7%
ゲイ向けサークル	2	0.0%
ゲイ向け合コン	4	0.1%
ゲイ向け乱パ	23	0.5%
有料のハッテン場/野外のハッテン場	1258	25.1%
ハッテン場で有名な公共施設	238	4.7%
売り専やマッサージ（抜きあり）	64	1.3%
日常生活（職場・学校等）のなかで	11	0.2%
友達、知人などの紹介	19	0.4%
その他	8	0.2%
小計	5021	100.0%
非該当	1900	
合計	6921	

「その場限りの相手」と出会ったきっかけは、アプリ、ハッテン場、出会い系サイトの順で多かった。

25 過去６ヵ月間にした行為

Q.「その場限りの相手」と、過去６ヵ月間にした行為を選んでください。※複数選択可

	n	%
キス	4312	85.9%
さわりあい	4056	80.8%
相互オナニー（マスタベーション）	3149	62.7%
フェラチオ	4492	89.5%
アナル舐め	1423	28.3%
アナルセックス	3628	72.3%
フィストファック	69	1.4%
SM	98	2.0%
膣性交	85	1.7%
器具をつかった行為	294	5.9%
何の行為もしていない	7	0.1%
その他	21	0.4%
全体	5021	
非該当	1900	
合計	6921	

「フェラチオ」、「キス」、「さわりあい」、「アナルセックス」、「相互オナニー」の順で多かった。

26 コンドームなしフェラチオ

Q.「その場限りの相手」と、過去６ヵ月間にコンドームを使わないフェラチオ（なめる側）はしましたか？

	n	%
していない	698	13.9%
した	4323	86.1%
小計	5021	100.0%
非該当	1900	
合計	6921	

86.1%の人が、コンドームなしのフェラチオをしていた。

27 アナルセックスの有無

Q.「その場限りの相手」と、過去６ヵ月間にアナルセックスはしましたか？

	n	%
していない	1393	27.7%
した	3628	72.3%
小計	5021	100.0%
非該当	1900	
合計	6921	

72.3%の人が、アナルセックスをしていた。

28 「その場限りの相手」とのアナルセックスとコンドーム使用頻度

Q. 自分がコンドームをつけ相手に挿入する（自分がタチ）

	n	%
なし	1522	42.0%
時々	1471	40.5%
頻繁に	635	17.5%
小計	3628	100.0%
非該当	3293	
合計	6921	

58.0%が、コンドームありで挿入していた。

Q. 相手がコンドームをつけ自分に挿入する（自分がウケ）

	n	%
なし	1305	36.0%
時々	1627	44.8%
頻繁に	696	19.2%
小計	3628	100.0%
非該当	3293	
合計	6921	

64.0%が、コンドームありで挿入されていた。

Q. 自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、自分がイク前に抜く（自分がタチ）

	n	%
なし	2668	73.5%
時々	845	23.3%
頻繁に	115	3.2%
小計	3628	100.0%
非該当	3293	
合計	6921	

26.5%が、コンドームなしで挿入していた(射精なし)。

Q. 相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、相手がイク前に抜く（自分がウケ）

	n	%
なし	2497	68.8%
時々	1006	27.7%
頻繁に	125	3.4%
小計	3628	100.0%
非該当	3293	
合計	6921	

31.2%が、コンドームなしで挿入されていた（射精なし)。

Q. 自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、中でイク（自分がタチ）

	n	%
なし	2485	68.5%
時々	898	24.8%
頻繁に	245	6.8%
小計	3628	100.0%
非該当	3293	
合計	6921	

31.5%が、コンドームなしで挿入し、射精していた。

Q. 相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、中でイク（自分がウケ）

	n	%
なし	2501	68.9%
時々	842	23.2%
頻繁に	285	7.9%
小計	3628	100.0%
非該当	3293	
合計	6921	

31.1%が、コンドームなしで挿入され、射精されていた。

性行動と予防行動（セフレ / 過去６ヵ月）

29 セックスの相手の有無

Q. 過去６ヵ月間に、「セフレ」はいましたか？

	n	%
いない	3613	52.2%
１人いた	1427	20.6%
２人以上いた	1881	27.2%
合計	6921	100.0%

47.8%の人は、過去６ヵ月間に「セフレ」がいた。

30 直近の相手と知り合ったきっかけ

Q. 一番直近の「セフレ」と知り合ったきっかけは？

	n	%
ゲイバー	72	2.2%
ゲイナイト（クラブ）	11	0.3%
ゲイショップ	0	0.0%
インターネットの出会い系サイト	716	21.6%
twitterなどのSNS	207	6.3%
スマートフォンのゲイ向けアプリ	1896	57.3%
ゲイ向けサークル	7	0.2%
ゲイ向け合コン	6	0.2%
ゲイ向け乱パ	21	0.6%
有料のハッテン場/野外のハッテン場	200	6.0%
ハッテン場で有名な公共施設	84	2.5%
売り専やマッサージ（抜きあり）	14	0.4%
日常生活（職場・学校等）のなかで	21	0.6%
友達、知人などの紹介	42	1.3%
その他	11	0.3%
小計	3308	100.0%
非該当	3613	
合計	6921	

「セフレ」と出会ったきっかけは、アプリ、出会い系サイトの順で多く、ハッテン場は少数であった。

31 過去６ヵ月間にした行為

Q.「セフレ」と、過去６ヵ月間にした行為を選んでください。※複数選択可

	n	%
キス	3018	91.2%
さわりあい	2722	82.3%
相互オナニー（マスタベーション）	2125	64.2%
フェラチオ	3057	92.4%
アナル舐め	1413	42.7%
アナルセックス	2657	80.3%
フィストファック	72	2.2%
SM	104	3.1%
膣性交	51	1.5%
器具をつかった行為	317	9.6%
何の行為もしていない	9	0.3%
その他	15	0.5%
全体	3308	
非該当	3613	
合計	6921	

「フェラチオ」、「キス」、「さわりあい」、「アナルセックス」、「相互オナニー」の順で多かった。

32 コンドームなしフェラチオ

Q.「セフレ」と、過去６ヵ月間にコンドームを使わないフェラチオ（なめる側）はしましたか？

	n	%
していない	378	11.4%
した	2930	88.6%
小計	3308	100.0%
非該当	3613	
合計	6921	

88.6%が、コンドームなしのフェラチオをしていた。

33 アナルセックスの有無

Q.「セフレ」と、過去６ヵ月間にアナルセックスはしましたか？

	n	%
していない	651	19.7%
した	2657	80.3%
小計	3308	100.0%
非該当	3613	
合計	6921	

80.3%が、アナルセックスをしていた。

34 「セフレ」とのアナルセックスとコンドーム使用頻度

Q. 自分がコンドームをつけ相手に挿入する（自分がタチ）

	n	%
なし	1381	52.0%
時々	829	31.2%
頻繁に	447	16.8%
小計	2657	100.0%
非該当	4264	
合計	6921	

48.0%が、コンドームありで挿入していた。

Q. 相手がコンドームをつけ自分に挿入する（自分がウケ）

	n	%
なし	1277	48.1%
時々	942	35.5%
頻繁に	438	16.5%
小計	2657	100.0%
非該当	4264	
合計	6921	

51.9%が、コンドームありで挿入されていた。

Q. 自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、自分がイク前に抜く（自分がタチ）

	n	%
なし	1996	75.1%
時々	539	20.3%
頻繁に	122	4.6%
小計	2657	100.0%
非該当	4264	
合計	6921	

24.9%が、コンドームなしで挿入していた（射精なし）。

Q. 相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、相手がイク前に抜く（自分がウケ）

	n	%
なし	1863	70.1%
時々	657	24.7%
頻繁に	137	5.2%
小計	2657	100.0%
非該当	4264	
合計	6921	

29.9%が、コンドームなしで挿入されていた（射精なし）。

Q. 自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、中でイク（自分がタチ）

	n	%
なし	1847	69.5%
時々	527	19.8%
頻繁に	283	10.7%
小計	2657	100.0%
非該当	4264	
合計	6921	

30.5%が、コンドームなしで挿入し、射精していた。

Q. 相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、中でイク（自分がウケ）

	n	%
なし	1748	65.8%
時々	568	21.4%
頻繁に	341	12.8%
小計	2657	100.0%
非該当	4264	
合計	6921	

34.2%が、コンドームなしで挿入され、射精されていた。

性行動と予防行動（パートナー / 過去 6 ヵ月）

35 パートナーの有無

Q. 過去 6 ヵ月間に、「パートナー」はいましたか？

	n	%
いない	3786	54.7%
1 人いた	2923	42.2%
2 人以上いた	212	3.1%
合計	6921	100.0%

45.3%の人が、過去6 ヵ月間に「パートナー」がいた。

36 直近の相手と知り合ったきっかけ

Q. 一番直近の「パートナー」と知り合ったきっかけは？

	n	%
ゲイバー	232	7.4%
ゲイナイト（クラブ）	25	0.8%
ゲイショップ	3	0.1%
インターネットの出会い系サイト	623	19.9%
twitter などの SNS	319	10.2%
スマートフォンのゲイ向けアプリ	1290	41.1%
ゲイ向けサークル	63	2.0%
ゲイ向け合コン	22	0.7%
ゲイ向け乱パ	8	0.3%
有料のハッテン場 / 野外のハッテン場	178	5.7%
ハッテン場で有名な公共施設	79	2.5%
売り専やマッサージ（抜きあり）	12	0.4%
日常生活（職場・学校等）のなかで	76	2.4%
友達、知人などの紹介	161	5.1%
その他	44	1.4%
小計	3135	100.0%
非該当	3786	
合計	6921	

「パートナー」と出会ったきっかけは、アプリ、出会い系サイト、SNS、ゲイバーの順で多かった。

37 過去 6 ヵ月間にした行為

Q.「パートナー」と、過去 6 ヵ月間にした行為を選んでください。※複数選択可

	n	%
キス	2673	85.3%
さわりあい	2241	71.5%
相互オナニー（マスタベーション）	1727	55.1%
フェラチオ	2186	69.7%
アナル舐め	950	30.3%
アナルセックス	1531	48.8%
フィストファック	34	1.1%
SM	48	1.5%
膣性交	35	1.1%
器具をつかった行為	226	7.2%
何の行為もしていない	358	11.4%
その他	19	0.6%
全体	3135	
非該当	3786	
合計	6921	

「キス」、「さわりあい」、「フェラチオ」、「相互オナニー」、「アナルセックス」の順で多かった。

38 コンドームなしフェラチオ

Q.「パートナー」と、過去 6 ヵ月間にコンドームを使わないフェラチオ（なめる側）はしましたか？

	n	%
していない	988	31.5%
した	2147	68.5%
小計	3135	100.0%
非該当	3786	
合計	6921	

68.5%が、コンドームなしのフェラチオをしていた。

39 アナルセックスの有無

Q.「パートナー」と、過去 6 ヵ月間にアナルセックスはしましたか？

	n	%
していない	1604	51.2%
した	1531	48.8%
小計	3135	100.0%
非該当	3786	
合計	6921	

48.8%が、アナルセックスをしていた。

40 「パートナー」とのアナルセックスとコンドーム使用頻度

Q. 自分がコンドームをつけ相手に挿入する（自分がタチ）

	n	%
なし	1038	67.8%
時々	324	21.2%
頻繁に	169	11.0%
小計	1531	100.0%
非該当	5390	
合計	6921	

32.2%が、コンドームありで挿入していた。

Q. 相手がコンドームをつけ自分に挿入する（自分がウケ）

	n	%
なし	975	63.7%
時々	365	23.8%
頻繁に	191	12.5%
小計	1531	100.0%
非該当	5390	
合計	6921	

36.3%が、コンドームありで挿入されていた。

Q. 自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、自分がイク前に抜く（自分がタチ）

	n	%
なし	1187	77.5%
時々	246	16.1%
頻繁に	98	6.4%
小計	1531	100.0%
非該当	5390	
合計	6921	

22.5%が、コンドームなしで挿入していた(射精なし)。

Q. 相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、相手がイク前に抜く（自分がウケ）

	n	%
なし	1105	72.2%
時々	292	19.1%
頻繁に	134	8.8%
小計	1531	100.0%
非該当	5390	
合計	6921	

27.8%が、コンドームなしで挿入されていた(射精なし)。

Q. 自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、中でイク（自分がタチ）

	n	%
なし	1031	67.3%
時々	250	16.3%
頻繁に	250	16.3%
小計	1531	100.0%
非該当	5390	
合計	6921	

32.7%が、コンドームなしで挿入し、射精していた。

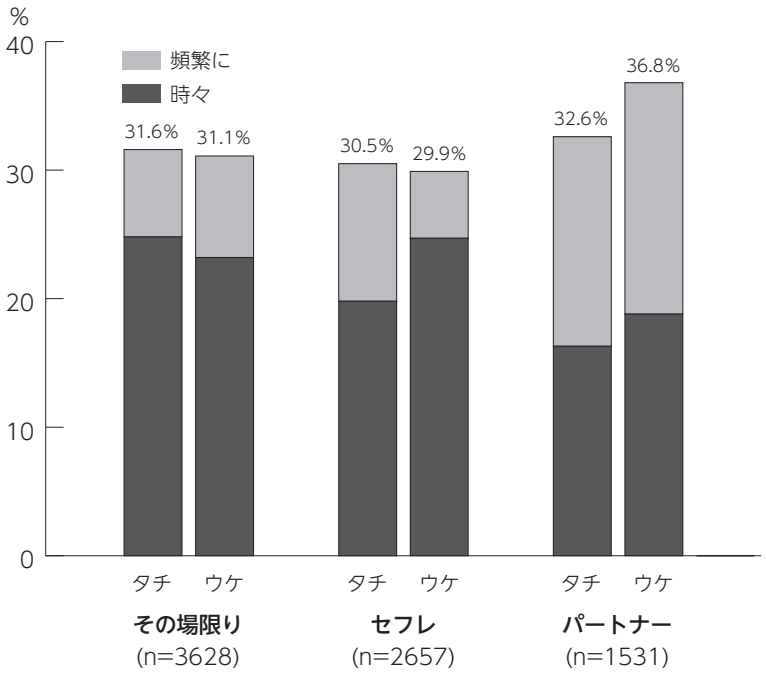
Q. 相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、中でイク（自分がウケ）

	n	%
なし	968	63.2%
時々	275	18.0%
頻繁に	288	18.8%
小計	1531	100.0%
非該当	5390	
合計	6921	

36.8%が、コンドームなしで挿入され、射精されていた。

過去６ヵ月間のアナルセックスでの中だし経験

	その場限り（n=3628）		セフレ（n=2657）		パートナー（n=1531）	
	タチ	ウケ	タチ	ウケ	タチ	ウケ
頻繁に	6.8%	7.9%	10.7%	5.2%	16.3%	18.0%
時々	24.8%	23.2%	19.8%	24.7%	16.3%	18.8%



セックスの相手との関係別でまとめてみると、「その場限り」、「セフレ」では、約３割前後がタチ／ウケともにコンドームなし・射精ありのセックスをしていた。「パートナー」は数は少ないものの、ウケはコンドームなしで射精される割合が高かった。

HIV 検査に関する会話 / セロソーティング

41 セックスの相手から検査結果を質問された経験

Q. これまでに性関係にあった相手に自分の HIV 検査結果を質問された経験がありますか?

	その場限りの相手		セフレ		パートナー	
	n	%	n	%	n	%
ない	4827	69.7%	4188	60.5%	3905	56.4%
ある	1596	23.1%	1634	23.6%	2049	29.6%
これまでにこの相手はいない	498	7.2%	1099	15.9%	967	14.0%
合計	6921	100.0%	6921	100.0%	6921	100.0%

過去に検査結果を質問された経験は、その場限りの相手／セフレで２割強、パートナーで３割だった。

42 セックスの相手に検査結果を伝えた経験

Q. これまでに性関係にあった相手に自分の HIV 検査結果を相手に伝えた経験がありますか?

	その場限りの相手		セフレ		パートナー	
	n	%	n	%	n	%
ない	4581	66.2%	3863	55.8%	3292	47.6%
ある	1868	27.0%	2000	28.9%	2692	38.9%
これまでにこの相手はいない	472	6.8%	1058	15.3%	937	13.5%
合計	6921	100.0%	6921	100.0%	6921	100.0%

過去に検査結果を伝えた経験は、その場限りの相手／セフレで３割弱、パートナーで４割弱だった。

43 セックスの相手から HIV 検査結果を伝えられた経験

Q. これまでに性関係にあった相手から HIV 検査結果を伝えられた経験がありますか?

	その場限りの相手		セフレ		パートナー	
	n	%	n	%	n	%
ない	4471	64.6%	3903	56.4%	3678	53.1%
ある	1995	28.8%	2002	28.9%	2335	33.7%
これまでにこの相手はいない	455	6.6%	1016	14.7%	908	13.1%
合計	6921	100.0%	6921	100.0%	6921	100.0%

過去に検査結果を伝えられた経験は、その場限りの相手／セフレで３割弱、パートナーで３割強だった。

44 過去６ヵ月間にコンドームなしのアナルセックスをした経験

Q. これまで性関係にあった相手と、過去６ヵ月間にコンドームを使わないアナルセックスをしたことはありますか?

	n	%
いいえ	3557	51.4%
はい	3364	48.6%
合計	6921	100.0%

回答者の約半数が、過去６ヵ月間にコンドームなしのアナルセックスをしていた。

45 過去６ヵ月間のセロソーティング等（陰性同士、陽性同士、治療の効果を確認など）

過去６ヵ月間でコンドームを使用せずにアナルセックスをした際、以下のことをどの程度しましたか？
※海外では、以下のような行動が HIV 感染予防に効果があると言われています。

Q. 自分と相手の HIV 検査の結果が同じであることを確認（陽性同士、陰性同士）

	n	%
していない	1863	55.4%
ときどきしている	687	20.4%
頻繁にしている	218	6.5%
常にしている	395	11.7%
該当しない	201	6.0%
小計	3364	100.0%
非該当	3557	
合計	6921	

HIV検査結果が同じかどうかを確認する行動は、「常にしている」と「頻繁にしている」が合わせて18.2%、「ときどきしている」が20.4%だった。

Q. もし、相手が HIV 陽性である場合には、相手の治療の効果を確認

	n	%
していない	1645	48.9%
ときどきしている	125	3.7%
頻繁にしている	58	1.7%
常にしている	145	4.3%
該当しない	1391	41.3%
小計	3364	100.0%
非該当	3557	
合計	6921	

Q. もし、自分が HIV 陽性である場合には、自分の治療の効果を把握

	n	%
していない	1367	40.6%
ときどきしている	95	2.8%
頻繁にしている	65	1.9%
常にしている	260	7.7%
該当しない	1577	46.9%
小計	3364	100.0%
非該当	3557	
合計	6921	

HIV 検査行動

46 過去の受検行動の有無

Q. これまでに HIV 抗体検査を受けたことがありますか？

	n	%
いいえ	2609	37.7%
はい	4312	62.3%
合計	6921	100.0%

* Q46 で「いいえ」と回答し、Q49 の自由記述で「陽性」と回答している８名は、Q46 を「はい」、Q48 を「陽性」、Q49 ～ Q58 を「非該当」に変換。

６割強が、検査を受けたことがあると回答。

47 最後に受けた検査の時期

Q. 最後に受けた検査はいつですか？

	n	%
この6 ヵ月未満前	1483	34.5%
6 ヵ月以上～１年未満前	858	19.9%
１年以上～３年未満前	1037	24.1%
３年以上前	926	21.5%
小計	4304	100.0%
非該当	2617	
合計	6921	

最後に受けた検査は、「1年以上～３年未満前」が 24.1%、「3年前以上前」が 21.5%だった。

48 検査結果

Q. 結果はどうでしたか？

	n	%
陰性（感染していなかった）	3767	87.4%
陽性（感染していた）	513	11.9%
結果を受け取っていない	32	0.7%
小計	4312	100.0%
非該当	2609	
合計	6921	

結果は「陰性」が 87.4%、「陽性」が 11.9%だった。
「結果を受け取っていない」という人もいた。

49 受けない理由

Q. 受けたことがない理由は次のどれがあてはまりますか？※複数選択可

	n	%
結果を知るのが怖いから	808	31.0%
感染している可能性がない	744	28.5%
曖昧なままにしておきたい	265	10.2%
検査場所が分からない	703	26.9%
機会がなかった	1652	63.3%
お金がかかる	416	15.9%
HIV感染者だと周囲に疑われる	236	9.0%
セクシュアリティの説明が面倒	416	15.9%
その他	113	4.3%
全体	2609	
非該当	4312	
合計	6921	

検査を受けない理由は「機会がなかった」が最も多く、「結果を知るのが怖いから」、「感染している可能性がない」、「検査場所が分からない」、「セクシュアリティの説明が面倒」、「お金がかかる」と続いた。

性行動と予防行動（その他）

※これらは米国 CDC（疾病管理予防センター）が開発した HIV の感染リスクを測る簡易スクリーニング・テスト（HIRI-MSM）の一部で、自分が HIV 陽性だと知っている人たち以外に質問している。

50 過去６ヵ月間の受け手側（ウケ）のアナルセックスの回数

Q. 過去６ヵ月間に、何回、受け手側（ウケ）のアナルセックスをしましたか？

	n	%
0回	3092	48.3%
1回以上	3316	51.7%
小計	6408	100.0%
非該当	513	
合計	6921	

過去６ヵ月間にアナルセックスでウケをしていたのは、陽性者以外では48.3%だった。

51 これまでの HIV 陽性の男性のセックスの相手の人数

Q. これまでに、HIV 陽性の男性のセックスの相手が何人いましたか？

	n	%
0人	5715	89.2%
1人	476	7.4%
2人以上	217	3.4%
小計	6408	100.0%
非該当	513	
合計	6921	

10.8%が、陽性者の男性とのセックス経験があると回答。

52 過去 6 ヵ月間の HIV 陽性の男性との挿入側（タチ）アナルセックスの回数

Q. 過去 6 ヵ月間に、HIV 陽性の男性と、挿入側（タチ）アナルセックスを何回しましたか？

	n	%
0回	6126	95.6%
1回	101	1.6%
2回	44	0.7%
3回	30	0.5%
4回	9	0.1%
5回以上	98	1.5%
小計	6408	100.0%
非該当	513	
合計	6921	

4.4%が、陽性者とのアナルセックスで挿入した経験があると回答。

HIRI-MSM のスコア分布

	n	%
0 ～ 5点	1469	21.2%
6 ～ 10点	1248	18.0%
11 ～ 15点	1222	17.7%
16 ～ 20点	1344	19.4%
21 ～ 25点	914	13.2%
26 ～ 30点	158	2.3%
31 ～ 35点	37	0.5%
36 ～ 40点	15	0.2%
41 ～ 45点	1	0.0%
NA	513	7.4%
合計	6921	100%

10点以上の場合にはPrEPやより強化されたHIV予防へのアクセスが必要だとされ、9点以下の場合には標準的な予防サービスを提供するように推奨されている。

意識

※自分が HIV 陽性だと知っている人以外が回答している。

53 PrEP の認知

Q. PrEP（HIV 暴露前予防）とは何かを知っていましたか？

	n	%
はい	677	10.6%
いいえ	5731	89.4%
小計	6408	100.0%
非該当	513	
合計	6921	

海外では、治療のために使われる抗HIV薬を予防のために利用する取り組みが始まっている。そのことを知っている人は10.6%であった。

54 PrEP の服薬希望

Q. HIV 感染の予防のために、抗 HIV 薬（PrEP）があったら飲みたいですか？

	n	%
はい	4367	68.1%
いいえ	327	5.1%
分からない	1705	26.6%
過去に飲んだことがある	5	0.1%
現在PrEPを飲んでいる最中である	4	0.1%
小計	6408	100.00%
非該当	513	
合計	6921	

PrEPを飲みたい人というは68.1%、分からないという人は26.6%。現在／過去に服薬中の人は9人であった。

55 PrEP の服用で気になること

Q. PrEP（HIV 暴露前予防）を飲むとしたら、気になることは次のうちどれですか？ ※複数選択可

	n	%
どれくらいお金が必要か	5992	93.5%
どのくらい副作用があるのか	5824	90.9%
予防の効果がどれくらいか	5226	81.6%
安定して継続できるのか	3704	57.8%
近所の医療機関で入手できるか	4366	68.1%
薬剤耐性（実際にHIVになった時、使える薬の種類が限られてしまわないか）	3001	46.8%
その他	106	1.7%
全体	6408	100.0%
非該当	513	
合計	6921	

気になる点は、価格、副作用、効果などがあげられた。

56 PrEP のコンドーム使用への影響

Q. HIV 感染の予防のために、PrEP（HIV 暴露前予防）を服薬した場合、コンドーム使用にどう影響すると思いますか？

	n	%
コンドームを今より使うようになると思う	802	12.5%
コンドームを今より使わなくなると思う	1929	30.1%
変わらないと思う	2944	45.9%
分からない	733	11.4%
小計	6408	100.00%
非該当	513	
合計	6921	

コンドーム使用への影響は、コンドームをより使うが 12.5%、より使わなくなるが 30.1%だった。

57 PEP の認知

Q. PEP(HIV 暴露後予防）とは何かを知っていましたか？

	n	%
はい	533	8.3%
いいえ	5875	91.7%
小計	6408	100.0%
非該当	513	
合計	6921	

予防が失敗した場合に抗HIVを服薬することを、PEPという。海外ではそういった取り組みが始まっているが、知っている人は8.3%であった。

58 PEP の服薬希望

Q. PEP（HIV 暴露後予防）があったら飲みたいですか？

	n	%
はい	4103	64.0%
いいえ	258	4.0%
わからない	2040	31.8%
過去に飲んだことがある	3	0.0%
現在PEPを飲んでいる最中である	4	0.1%
小計	6408	100.0%
非該当	513	
合計	6921	

PEPがあったら飲みたいという人は、64.0%であった。

HIV の意識

59 HIV の身近感

Q. あなたにとって HIV は身近なものですか？

	n	%
とても身近	1309	18.9%
身近	2530	36.6%
身近ではない	2405	34.7%
全く身近ではない	677	9.8%
合計	6921	100.0%

HIVが身近だと感じる人は55.5%、身近ではないという人は45.6%だった。

60 HIV 陽性者の友達や知人の有無

Q. 友達や知り合いに HIV に感染している人はいますか？

	n	%
いる	1901	27.5%
いると思う	1094	15.8%
いないと思う	2887	41.7%
いない	1039	15.0%
合計	6921	100.00%

HIV陽性の知人が「いる」、「いると思う」が合わせて43.3%、「いないと思う」、「いない」が合わせて56.7%だった。

61 HIVの流行の中心が男性同性間のセックスである認識

Q. 日本の HIV 感染報告はゲイ・バイセクシュアル男性が中心であると思いますか?

	n	%
そう思う	4158	60.1%
そう思わない	1921	27.8%
わからない	842	12.2%
合計	6921	100.0%

「そう思う」が6割であった。実際には、2016年の厚生労働省の報告によると、HIV陽性者のうち未発症者「HIV感染者」の72.7%、発症者「AIDS患者」の55.1%が男性同性間の性行為による感染である。

62 HIV 陽性であるかないかの話しやすさ

Q. 普段の生活のなかで、HIV 陽性であるかないかを話しやすいと思いますか?

	n	%
とても話しやすいと思う	65	0.9%
話しやすいと思う	262	3.8%
話しやすいと思わない	2635	38.1%
全く話しやすいと思わない	3959	57.2%
合計	6921	100.0%

HIV陽性であるかないかを話しやすいかを聞くと、「とても話しやすいと思う」と「話しやすいと思う」で4.7%、「話しやすいとは思わない」と「全く話しやすいと思わない」で95.3%を占めた。

基本知識　10 問

63 治療とウイルス量の変化、性感染症と HIV 感染の関連、早期治療の重要性、医療費助成制度の存在、検出限界以下だと感染は起こりにくい、知らずにいると誰かにウイルスを渡す、オーラルセックスのリスク、男性同性間のセックスが主要感染経路、コンドームが感染症に有効、プライバシーは守られる

Q. 以下の質問で正しいものには○、間違っているものには×を選んでください。

※アンケート終了後に解説ページに案内した (巻末を参照)。

HIV 感染に気づいている人は、治療を継続することで血液中からウイルスがほとんど見つからなくなる

	n	%
○	2623	37.9%
×	4298	62.1%
合計	6921	100.0%

抗HIV薬による治療で、血液中のウイルスが見つからないレベルに抑えることが可能になった。「○」が正解だが、HIV＝ウイルスであると認識しなかった人がいた可能性もある。

性感染症 (HIV 以外) にかかっていると、HIV に感染しやすくなる

	n	%
○	5295	76.5%
×	1626	23.5%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。23.5%の人は不正解だった。

HIV に感染しても、早期に治療を開始すれば、長く生きられる

	n	%
○	6668	96.3%
×	253	3.7%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。ほとんどの人が正解した。

HIV の治療費を低く抑えることができる社会制度がある

	n	%
○	5496	79.4%
×	1425	20.6%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。20.6%の人は不正解だった。

通院し治療を受けても、HIV のプライバシーは守られ、役所、病院などから職場や学校に勝手に伝わらない

	n	%
○	6220	89.9%
×	701	10.1%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。基本的にプライバシーは守られるが、不安に感じていることが回答に影響した可能性もある。

セックスの相手が HIV に感染している場合でも、感染に気づき治療を継続している場合には、感染の可能性は非常に低くなる

	n	%
○	2977	43.0%
×	3944	57.0%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。57.0%の人は不正解だった。

HIV 感染に気づかずにいると、セックスを通じて体内のウイルスを誰かにうつすことがある

	n	%
○	6840	98.8%
×	81	1.2%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。ほとんどの人が正解した。

先進国では HIV の主な感染ルートは男性同性間のセックスによるものである

	n	%
○	4867	70.3%
×	2054	29.7%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。29.7%の人は不正解だった。

オーラルセックスでの HIV の感染のリスクは低いが、ゼロではない

	n	%
○	6513	94.1%
×	408	5.9%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。ほとんどの人が正解した。

コンドームを使用することで、HIV だけでなく、他の性感染症のリスクも減らせる

	n	%
○	6828	98.7%
×	93	1.3%
合計	6921	100.0%

「○」が正解。ほとんどの人が正解した。

嗜好品

64 過去 6 ヵ月間の喫煙

Q. 過去 6 ヵ月間に、たばこを吸いましたか?

	n	%
ほぼ毎日吸っていた	2049	29.6%
ときどき吸っていた	433	6.3%
全く吸っていない	4439	64.1%
合計	6921	100.0%

喫煙率は 35.9%であった。

65 過去 6 ヵ月間の飲酒

Q. 過去 6 ヵ月間に、お酒を飲みましたか?

	n	%
ほぼ毎日飲んでいた	1089	15.7%
ときどき飲んでいた	4807	69.5%
全く飲んでいない	1025	14.8%
合計	6921	100.0%

全く飲酒しない人が 14.8%いた。

薬物使用についての意識 / 行動

66 ドラッグ・薬物使用の話題の話しやすさ

Q. 普段の生活のなかで、ドラッグ・薬物の話題は話しやすいと思いますか?

	n	%
とても話しやすいと思う	177	2.6%
話しやすいと思う	1153	16.7%
話しやすいと思わない	3174	45.9%
全く話しやすいと思わない	2417	34.9%
合計	6921	100.0%

ドラッグ・薬物の話題は、19.2%の人が話しやすいと回答。

67 ドラッグ・薬物使用のイメージ

Q. ドラッグ・薬物を使用することのイメージをお聞かせください。※複数選択可

	n	%
オシャレ／カッコいい	65	0.9%
楽しい／気持ちいい	957	13.8%
危険／怖い	5824	84.1%
違法	5837	84.3%
はまると怖い	5010	72.4%
ダサい	1753	25.3%
コントロールできていれば大丈夫	413	6.0%
全体	6921	

ドラッグのイメージは多様だが、「危険／怖い」、「違法」、「はまると怖い」という回答が多くの割合を占めた。

68 ドラッグ・薬物使用の目撃経験

Q. これまでに、誰かがドラッグ・薬物を使用しているのを見たことがありますか?

	n	%
はい	2865	41.4%
いいえ	4056	58.6%
合計	6921	100.0%

ドラッグ・薬物の目撃経験は、41.4%の人があると回答していた。

69 ドラッグ・薬物使用の被誘惑経験

Q. これまでに、ドラッグ・薬物使用を勧められたことがありますか?

	n	%
はい	2498	36.1%
いいえ	4423	63.9%
合計	6921	100.0%

過去にドラッグ・薬物使用を勧められた経験がある人が36.1%いた。

70 ドラッグ・薬物の使用経験

Q. これまでにドラッグ・薬物を使った経験はありますか?

	n	%
はい	1756	25.4%
いいえ	5165	74.6%
合計	6921	100.0%

25.4%が、使用した経験があると回答した。

71 ドラッグ・薬物の最終使用時期

Q. 次のドラッグ・薬物を、セックスの場面に限らず最後に使ったのはいつですか?

A. ぼっき薬・ED 薬（バイアグラ、シアリス・威哥王・三便宝など）

	n	%
1 ヵ月以内	359	20.4%
2 ヵ月〜 6 ヵ月以内	167	9.5%
7 ヵ月〜 1 年以内	98	5.6%
1 年以上前	398	22.7%
使ったことはない	734	41.8%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

B. 咳止め（ブロン）

	n	%
1 ヵ月以内	60	3.4%
2 ヵ月〜 6 ヵ月以内	64	3.6%
7 ヵ月〜 1 年以内	77	4.4%
1 年以上前	171	9.7%
使ったことはない	1384	78.8%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

C. 脱法ドラッグ（ハーブ・リキッド・パウダー・アロマ・ソルト）

	n	%
1 ヵ月以内	36	2.1%
2 ヵ月〜 6 ヵ月以内	38	2.2%
7 ヵ月〜 1 年以内	42	2.4%
1 年以上前	506	28.8%
使ったことはない	1134	64.6%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

D. 5MeO − DIPT（ゴメオ・フォクシー）

	n	%
1 ヵ月以内	4	0.2%
2 ヵ月〜 6 ヵ月以内	3	0.2%
7 ヵ月〜 1 年以内	7	0.4%
1 年以上前	586	33.4%
使ったことはない	1156	65.8%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

E. ラッシュ（亜硝酸アミル系・ポッパー・RUSH）

	n	%
1 ヵ月以内	133	7.6%
2 ヵ月〜 6 ヵ月以内	151	8.6%
7 ヵ月〜 1 年以内	71	4.0%
1 年以上前	1232	70.2%
使ったことはない	169	9.6%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

5MeO－DIPTは2005年、ラッシュは2016年までに規制が段階的に強化された。以前はショップで販売していたが、現在は国内では入手が難しい。

F. ガス（エアーダスター、ライターガス）

	n	%
1 ヵ月以内	32	1.8%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	37	2.1%
7 ヵ月～ 1 年以内	23	1.3%
1 年以上前	208	11.8%
使ったことはない	1456	82.9%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

G. 有機溶剤・シンナー（ボンド・トルエン・エーテル）

	n	%
1 ヵ月以内	9	0.5%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	3	0.2%
7 ヵ月～ 1 年以内	1	0.1%
1 年以上前	74	4.2%
使ったことはない	1669	95.0%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

H. 大麻（マリファナ・ハシッシ・ハッパ）

	n	%
1 ヵ月以内	17	1.0%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	24	1.4%
7 ヵ月～ 1 年以内	17	1.0%
1 年以上前	320	18.2%
使ったことはない	1378	78.5%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

I. 覚せい剤（シャブ・エス・スピード・アイス・クリスタルメス）

	n	%
1 ヵ月以内	31	1.8%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	25	1.4%
7 ヵ月～ 1 年以内	12	0.7%
1 年以上前	174	9.9%
使ったことはない	1514	86.2%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

J. MDMA（エクスタシー・X・バツ・アダム）

	n	%
1 ヵ月以内	8	0.5%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	9	0.5%
7 ヵ月～ 1 年以内	5	0.3%
1 年以上前	132	7.5%
使ったことはない	1602	91.2%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

K. ヘロイン（モルヒネ、けし）

	n	%
1 ヵ月以内	1	0.1%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	2	0.1%
7 ヵ月～ 1 年以内	2	0.1%
1 年以上前	24	1.4%
使ったことはない	1727	98.3%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

L. コカイン（クラック・コーク・ロック）

	n	%
1 ヵ月以内	2	0.1%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	1	0.1%
7 ヵ月～ 1 年以内	1	0.1%
1 年以上前	52	3.0%
使ったことはない	1700	96.8%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

M. ケタミン

	n	%
1 ヵ月以内	7	0.4%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	7	0.4%
7 ヵ月～ 1 年以内	3	0.2%
1 年以上前	32	1.8%
使ったことはない	1707	97.2%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

N. GHB (G、G ウォーター)

	n	%
1 ヵ月以内	4	0.2%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	3	0.2%
7 ヵ月～ 1 年以内	3	0.2%
1 年以上前	24	1.4%
使ったことはない	1722	98.1%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

O. 注射器・注射針を使ったドラッグ・薬物

	n	%
1 ヵ月以内	27	1.5%
2 ヵ月～ 6 ヵ月以内	25	1.4%
7 ヵ月～ 1 年以内	9	0.5%
1 年以上前	101	5.8%
使ったことはない	1594	90.8%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

注射によるドラッグ・薬物使用は 91%が経験がないと回答。

72 初めてのドラッグ・薬物使用の場所

Q. 初めてドラッグ・薬物を使用した場所はどこでしたか?

	n	%
クラブ	49	2.8%
ハッテン場	326	18.6%
ホテル	284	16.2%
自分の家	242	13.8%
パートナーの家	116	6.6%
セフレの家	369	21.0%
友達・先輩・後輩の家	137	7.8%
野外	70	4.0%
覚えていない	121	6.9%
その他（具体的に）	42	2.4%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

初めてドラッグ・薬物を使った場所は、その多くが性行為の場所と重なると思われる。

73 初めてのドラッグ・薬物使用の相手

Q. 初めてドラッグ・薬物を使用したとき誰かと一緒でしたか? ※複数選択可

	n	%
その場限りのセックスの相手	778	44.3%
セフレ	543	30.9%
パートナー	234	13.3%
友達・先輩・後輩	262	14.9%
乱パにいた知らない人	50	2.8%
自分 1 人	149	8.5%
覚えていない	56	3.2%
その他（具体的に）	13	0.7%
全体	1756	
非該当	5165	
合計	6921	

誰と一緒だったのかを聞くと、多くはセックスの相手だった。「友達・先輩・後輩」だったという人も、14.9%いた。

74 ドラッグ・薬物の使用開始年齢

Q. 初めてドラッグ・薬物を使ったのは何歳のときでしたか?

	n	%
10 歳未満	4	0.2%
10 ～ 15 歳	50	2.8%
16 ～ 19 歳	313	17.8%
20 ～ 24 歳	659	37.5%
25 ～ 29 歳	400	22.8%
30 ～ 34 歳	192	10.9%
35 ～ 39 歳	91	5.2%
40 ～ 44 歳	33	1.9%
45 ～ 49 歳	10	0.6%
50 ～ 54 歳	4	0.2%
55 ～ 59 歳	0	0.0%
60 ～ 64 歳	0	0.0%
65 ～ 69 歳	0	0.0%
70 歳以上	0	0.0%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

ドラッグ・薬物の使用開始年齢は、10 代：20.7%、20 代：60.3%、30 代：16.1と 、多くが 10 ～ 20 代で使用を開始していた。

75 ドラッグ・薬物使用の状況

Q. 初めてドラッグ・薬物を使用したときの状況は次のうちどれに近いですか?

	n	%
自ら望んで	349	19.9%
相手に誘われて	1262	71.9%
自分の同意がないまま摂取していた（自分の知らないうちに相手に摂取させられた）	145	8.3%
小計	1756	100.0%
非該当	5165	
合計	6921	

初めてドラッグ・薬物を使った時は、「相手に誘われて」が7割以上であった。

76 ドラッグや薬物を使う理由

Q. ドラッグ・薬物を使う理由について、あてはまるものを選んでください。一度も使ったことがない人は、想像で答えてください。

セックスの快感を高めたり、アナルセックスの痛みを軽減させるため

	n	%
そう思う	3620	52.3%
ややそう思う	1887	27.3%
あまりそう思わない	393	5.7%
そう思わない	1021	14.8%
合計	6921	100.0%

セックスへの不安解消や性的関係を維持するため

	n	%
そう思う	1160	16.8%
ややそう思う	1480	21.4%
あまりそう思わない	1774	25.6%
そう思わない	2507	36.2%
合計	6921	100.0%

現実からの逃避、精神的不安を軽減するため

	n	%
そう思う	3118	45.1%
ややそう思う	1705	24.6%
あまりそう思わない	615	8.9%
そう思わない	1483	21.4%
合計	6921	100.0%

クラブで音楽や映像への感度を高めるため

	n	%
そう思う	1279	18.5%
ややそう思う	1675	24.2%
あまりそう思わない	1572	22.7%
そう思わない	2395	34.6%
合計	6921	100.0%

薬物をすすめる相手と親密になるため

	n	%
そう思う	681	9.8%
ややそう思う	1414	20.4%
あまりそう思わない	1764	25.5%
そう思わない	3062	44.2%
合計	6921	100.0%

法的に制限されていない海外だから

	n	%
そう思う	1259	18.2%
ややそう思う	1715	24.8%
あまりそう思わない	1319	19.1%
そう思わない	2628	38.0%
合計	6921	100.0%

ドラッグ・薬物を使う理由で多いものは、アナルセックスの痛みの緩和と軽減で、次いで現実からの逃避、精神的な不安を軽減するためだった。

77 ドラッグや薬物を使わない理由

Q. ドラッグや薬物を使わない理由について、あてはまるものを選んでください。

違法だから

	n	%
そう思う	6286	90.8%
ややそう思う	425	6.1%
あまりそう思わない	97	1.4%
そう思わない	113	1.6%
合計	6921	100.0%

危険だから

	n	%
そう思う	6203	89.6%
ややそう思う	540	7.8%
あまりそう思わない	107	1.5%
そう思わない	71	1.0%
合計	6921	100.0%

はまると怖いから

	n	%
そう思う	6033	87.2%
ややそう思う	605	8.7%
あまりそう思わない	140	2.0%
そう思わない	143	2.1%
合計	6921	100.0%

使うべきでないと思うから

	n	%
そう思う	5857	84.6%
ややそう思う	653	9.4%
あまりそう思わない	247	3.6%
そう思わない	164	2.4%
合計	6921	100.0%

依存になった身近な人がいるから

	n	%
そう思う	1187	17.2%
ややそう思う	722	10.4%
あまりそう思わない	1282	18.5%
そう思わない	3730	53.9%
合計	6921	100.0%

正しい情報や教育を得ているから

	n	%
そう思う	3664	52.9%
ややそう思う	1828	26.4%
あまりそう思わない	923	13.3%
そう思わない	506	7.3%
合計	6921	100.0%

現状の生活に満足しているから

	n	%
そう思う	3363	48.6%
ややそう思う	1339	19.3%
あまりそう思わない	1211	17.5%
そう思わない	1008	14.6%
合計	6921	100.0%

周囲の信用を失うから

	n	%
そう思う	5106	73.8%
ややそう思う	1079	15.6%
あまりそう思わない	412	6.0%
そう思わない	324	4.7%
合計	6921	100.0%

薬物を使わないセックスに満足しているから

	n	%
そう思う	3979	57.5%
ややそう思う	1438	20.8%
あまりそう思わない	849	12.3%
そう思わない	655	9.5%
合計	6921	100.0%

近親者に迷惑をかけるから

	n	%
そう思う	5502	79.5%
ややそう思う	795	11.5%
あまりそう思わない	329	4.8%
そう思わない	295	4.3%
合計	6921	100.0%

ストレスと対処行動

※ Q78 ～ 80 は国民生活基礎調査（健康票）と同じ質問を採用している。

78 悩みやストレスの有無

Q. あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。

	n	%
ある	6286	90.8%
ない	635	9.2%
合計	6921	100.0%

9割以上がストレスがあると回答していた。

79 悩みやストレスの内容

Q. それは、どのような原因による悩みやストレスですか。
※複数選択可

	n	%
家族との人間関係	2298	36.6%
家族以外との人間関係	3298	52.5%
恋愛・性に関すること	3869	61.5%
結婚	1609	25.6%
離婚	88	1.4%
いじめ、セクシュアル・ハラスメント	493	7.8%
生きがいに関すること	2773	44.1%
自由にできる時間がない	1177	18.7%
収入・家計・借金等	3884	61.8%
自分の病気や介護	1354	21.5%
家族の病気や介護	850	13.5%
妊娠・出産	57	0.9%
育児	49	0.8%
家事	280	4.5%
自分の学業・受験・進学	685	10.9%
子どもの教育	76	1.2%
自分の仕事	4387	69.8%
家族の仕事	273	4.3%
住まいや生活環境（公害、安全及び交通事情を含む）	1033	16.4%
分からない	57	0.9%
その他	264	4.2%
全体	6286	
非該当	635	
合計	6921	

ストレス源は、仕事関係、恋愛や性、経済的なこと、人間関係などが多かった。

80 相談行動

Q. 悩みやストレスを、どのように相談していますか。※複数選択可

	n	%
家族に相談している	1154	18.4%
友人・知人に相談している	3587	57.1%
職場の上司、学校の先生に相談している	592	9.4%
公的な機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している	122	1.9%
民間の相談機関（悩み相談所等）の 相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している	69	1.1%
病院・診療所の医師に相談している	413	6.6%
テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	19	0.3%
上記以外で相談している（職場の相談窓口等）	46	0.7%
相談したいが誰にも相談できないでいる	1459	23.2%
相談したいがどこに相談したらよいか分からない	888	14.1%
相談する必要がないので誰にも相談していない	1146	18.2%
その他（具体的に）	115	1.8%
全体	6286	
非該当	635	
合計	6921	

ストレスについて周囲の人に相談するという人が多かったが、相談先が分からないという人も2割いた。

81 ストレスへの対処行動

Q. ストレスがたまったときに、どんな方法でそれを解消しますか？※複数選択可

	n	%
お酒を飲む	2979	43.0%
タバコを吸う	1770	25.6%
マスターベーションをする	4197	60.6%
ハッテン場にいってセックスをする	1779	25.7%
売り専を利用する	231	3.3%
マッサージにいく（抜きあり）	519	7.5%
美味しいものを食べる	4464	64.5%
誰でもいいので人と会っておしゃべりをする	2225	32.1%
信頼できる人と話す	3436	49.6%
薬物（ドラッグ）を使う	83	1.2%
映画を見る	1995	28.8%
音楽を聴く	3427	49.5%
ショッピングをする	2719	39.3%
スポーツをする	1835	26.5%
趣味に打ち込む	2676	38.7%
仕事に打ち込む	660	9.5%
テレビを見る	1957	28.3%
ゲームをする	1673	24.2%
カラオケに行く	2061	29.8%
散歩をする	1384	20.0%
旅行に行く	1720	24.9%
パチンコ・ギャンブルをする	687	9.9%
そもそもストレスがたまらない	134	1.9%
その他	273	3.9%
全体	6921	

（本調査独自の設問）「美味しいものを食べる」、「マスターベーションをする」、「音楽を聴く」、「お酒を飲む」がストレス解消方法として多く選ばれていた。

82 当事者の友人と知り合った方法

Q. あなたの親しいゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性の友人たちとはどこで知り合いましたか？ ※複数選択可

	n	%
バーで知り合った	2203	31.8%
友人を通して知り合った	2540	36.7%
クラブで知り合った	427	6.2%
ハッテン場で知り合った	1414	20.4%
ネット上（掲示板）で知り合った	2428	35.1%
出会い系アプリで知り合った	4540	65.6%
ＳＮＳで知り合った	2692	38.9%
サークルで知り合った	732	10.6%
親しいゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性の友人はいない	382	5.5%
その他	181	1.9%
合計	6921	

友達と知り合ったきっかけは、アプリ、SNS上、ネットの掲示板、友達を介して、バーでという回答が多かった。

83 親へのカミングアウト経験

Q. ゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性であることを親にカミングアウトした経験はありますか？

	n	%
両親ともにした	590	8.5%
父親のみにした	64	0.9%
母親のみにした	563	8.1%
両親ともにしていない／しなかった	4839	69.9%
伝えていないが、父親／母親／両親は知っている／知っていた	514	7.4%
親はいない	351	5.1%
合計	6921	100.0%

親へのカミングアウトは、両親ともにしていないが７割弱だった。

84 職場 / 学校でのカミングアウト

Q. 職場や学校でカミングアウトはしていますか？

	n	%
広くしている（隠していない）	425	6.1%
信頼できる人にのみしている	1912	27.6%
全くしていない	4584	66.2%
合計	6921	100.0%

職場や学校でのカミングアウトは、全くしていないが７割弱だった。

85 心を許せるゲイ・バイセクシュアルの友達の有無

Q. 心を許せるゲイ・バイセクシュアルの友達はいますか？

	n	%
いる	4882	70.5%
いない	2039	29.5%
合計	6921	100.0%

心を許せるゲイ・バイセクシュアルの友達がいる人は7割強だった。

86 心を許せるレズビアンの友達の有無

Q. 心を許せるレズビアンの友達はいますか？

	n	%
いる	516	7.5%
いない	6405	92.5%
合計	6921	100.0%

心を許せるレズビアンの友達はいないという人が９割強だった。

87 心を許せるトランスジェンダーの友達の有無

Q. 心を許せるトランスジェンダー（トランス男性・トランス女性を含む）の友達はいますか？

	n	%
いる	478	6.9%
いない	6443	93.1%
合計	6921	100.0%

心を許せるトランスジェンダーの友達はいないという人が９割強だった。

88 心を許せる異性愛者の友達の有無

Q. 心を許せる異性愛者の友達はいますか？

	n	%
いる	4046	58.5%
いない	2875	41.5%
合計	6921	100.0%

心を許せる異性愛者の友達がいる人は６割弱だった。

自己肯定感

89 性のめざめ時、現在の肯定感

Q. あなた自身、自分のことをどのくらい肯定的、あるいは否定的に感じていますか？いましたか？

男性とはじめてセックスをした（めざめた）頃の自分への評価、感じ方

	n	%
とても否定的	684	9.9%
否定的	1127	16.3%
どちらでもない	2787	40.3%
肯定的	1547	22.4%
とても肯定的	776	11.2%
合計	6921	100.0%

自分のセクシュアリティに気づいた頃の自己肯定感は、「肯定的」と「とても肯定的」を合わせて33.6%だった。

現在のあなた自身の自分への評価、感じ方

	n	%
とても否定的	407	5.9%
否定的	853	12.3%
どちらでもない	2246	32.5%
肯定的	2125	30.7%
とても肯定的	1290	18.6%
合計	6921	100.0%

90 自身の自己評価が上がったこと

Q. 次の項目のなかでこれまでに行って、ご自身の自己評価が上がったことはどれですか？ ※複数選択可

	n	%
体型や肉体を改造した	2441	35.3%
ゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性だとばれない努力をした	1352	19.5%
服装や見た目をゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性に受けるものにした	1437	20.8%
セックスで以前よりモテるようになった	1157	16.7%
資格をとった	1010	14.6%
勉強をがんばった	1313	19.0%
仕事をがんばった	2796	40.4%
社会貢献活動に参加した	417	6.0%
趣味を極めた	940	13.6%
LGBT等のサークルに入った	359	5.2%
LGBT等向けイベントに参加した	364	5.3%
SNSやアプリなどでゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性として周囲とつながれた	2230	32.2%
ゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性の友達をつくった	2315	33.4%
ゲイ・バイセクシュアル、またはトランス・ゲイ男性の恋人ができた	1596	23.1%
家族にカミングアウトした	550	7.9%
家族以外にカミングアウトした	1113	16.1%
その他（具体的に）	262	3.8%
全体	6921	

自己肯定感の向上に繋がった活動としては、「仕事をがんばった」、「体型や肉体を改造した」が多く、友達ができたという項目も自己肯定に繋がると回答された。

20. ストレス・スクリーニング尺度（K6）

91 ストレスに関する６つの質問

Q. この 1ヵ月間に、どれくらいの頻度で次のことがありましたか??

神経過敏に感じましたか

	n	%
全くない	3509	50.7%
少しだけ	1665	24.1%
ときどき	1092	15.8%
たいてい	402	5.8%
いつも	253	3.7%
合計	6921	100.0%

絶望的だと感じましたか

	n	%
全くない	3192	46.1%
少しだけ	1749	25.3%
ときどき	1185	17.1%
たいてい	460	6.6%
いつも	335	4.8%
合計	6921	100.0%

そわそわ、落ち着かなく感じましたか

	n	%
全くない	2564	37.0%
少しだけ	2095	30.3%
ときどき	1565	22.6%
たいてい	452	6.5%
いつも	245	3.5%
合計	6921	100.0%

気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか

	n	%
全くない	1993	28.8%
少しだけ	2122	30.7%
ときどき	1699	24.5%
たいてい	672	9.7%
いつも	435	6.3%
合計	6921	100.0%

何をするのも骨折りだと感じましたか

	n	%
全くない	2748	39.7%
少しだけ	1983	28.7%
ときどき	1335	19.3%
たいてい	548	7.9%
いつも	307	4.4%
合計	6921	100.0%

自分は価値のない人間だと感じましたか

	n	%
全くない	2893	41.8%
少しだけ	1652	23.9%
ときどき	1127	16.3%
たいてい	586	8.5%
いつも	663	9.6%
合計	6921	100.0%

K6 スケールの合計得点分布

	n	%
0 ～ 4点	3040	43.9%
5 ～ 12点	2792	40.3%
13点以上	1089	15.7%
合計	6921	100.0%

精神の健康度を測定する尺度(K6) による設問。6つの質問について5段階(0 ～ 4点) で点数化し(合計0 ～ 24点)、合計得点が高いほど精神的な問題がより重い可能性があるとされている。

92 性的な行動、依存や脅迫的な傾向に関する10の質問

Q. 以下に、人によってはご自分の状況をこんなふうに表現していたという文があります。それぞれの文についてあなた自身にもっともあてはまると思うものを選んでください。

性欲のせいで人付き合いにヒビが入ることがある

	n	%
まったくあてはまらない	2900	41.9%
あまりあてはまらない	2208	31.9%
まああてはまる	1544	22.3%
とてもあてはまる	269	3.9%
合計	6921	100.0%

自分の性的な想像や性的行動は、私の生活や人生に問題を引き起こしている

	n	%
まったくあてはまらない	3217	46.5%
あまりあてはまらない	2078	30.0%
まああてはまる	1311	18.9%
とてもあてはまる	315	4.6%
合計	6921	100.0%

セックスしたいという欲求が日々の生活を妨げたことがある

	n	%
まったくあてはまらない	2816	40.7%
あまりあてはまらない	2269	32.8%
まああてはまる	1485	21.5%
とてもあてはまる	351	5.1%
合計	6921	100.0%

自分の性的行動のために、約束を破ったり責任を果たせなかったりすることがある

	n	%
まったくあてはまらない	3860	55.8%
あまりあてはまらない	1992	28.8%
まああてはまる	896	12.9%
とてもあてはまる	173	2.5%
合計	6921	100.0%

ものすごく性的に欲情して、コントロールできそうもないことがある

	n	%
まったくあてはまらない	3370	48.7%
あまりあてはまらない	2036	29.4%
まああてはまる	1239	17.9%
とてもあてはまる	276	4.0%
合計	6921	100.0%

職場や学校でふと気づくとセックスについて考えていることがある

	n	%
まったくあてはまらない	1361	19.7%
あまりあてはまらない	1692	24.4%
まああてはまる	2875	41.5%
とてもあてはまる	993	14.3%
合計	6921	100.0%

性的な想像や性感が本来の自分よりも強くなっていると感じる

	n	%
まったくあてはまらない	2186	31.6%
あまりあてはまらない	2402	34.7%
まああてはまる	1807	26.1%
とてもあてはまる	526	7.6%
合計	6921	100.0%

性的な想像や性的行動をコントロールするために苦労している

	n	%
まったくあてはまらない	3268	47.2%
あまりあてはまらない	2372	34.3%
まああてはまる	992	14.3%
とてもあてはまる	289	4.2%
合計	6921	100.0%

自分が望む以上にセックスのことばかり考えている

	n	%
まったくあてはまらない	2497	36.1%
あまりあてはまらない	2325	33.6%
まああてはまる	1563	22.6%
とてもあてはまる	536	7.7%
合計	6921	100.0%

自分と同じくらいセックスをしたがる相手はなかなか見つからない

	n	%
まったくあてはまらない	2390	34.5%
あまりあてはまらない	2301	33.2%
まああてはまる	1514	21.9%
とてもあてはまる	716	10.3%
合計	6921	100.0%

93 過去６ヵ月間の性に関する行動と日常生活への影響

Q. 過去６ヶ月間に、セックスすること、セックスの動画を見ること、マスターベーションすることなど、性に関する行動が自分でコントロールできず日常生活に支障が出続けていますか?

	n	%
はい	915	13.2%
いいえ	6006	86.8%
合計	6921	100.0%

いじめ経験 / トラウマ体験

94 子どもの頃のいじめ（セクシュアリティを理由としたもの、それ以外）

Q. 子どもの頃に、いじめられたことがありますか?

	n	%
ある（ホモ、オカマなど、自分のセクシュアリティに関連したいじめが多かった）	2391	34.5%
ある（自分のセクシュアリティとは関係のないいじめが多かった）	2327	33.6%
ない	2203	31.8%
合計	6921	100.0%

「ホモ」、「オカマ」等のいじめは34.5%、その他のいじめは33.6%があったと回答。

95 虐待、ネグレクト、家族内の依存症者、家族内の自殺者など、子ども期の逆境体験の有無

Q. 以下の経験があるか教えてください。

親から、暴言をはかれたり、両親の DV を見ていた

	n	%
はい	1395	20.2%
いいえ	5526	79.8%
合計	6921	100.0%

親のDVを見ていたという人は20.2%。

親からの暴力や体罰を受けていた

	n	%
はい	1174	17.0%
いいえ	5747	83.0%
合計	6921	100.0%

親から暴力、体罰を受けていたという人は17.0%。

親から、十分な世話や関心を向けてもらえなかった

	n	%
はい	1122	16.2%
いいえ	5799	83.8%
合計	6921	100.0%

親から無視されていたという人は16.2%

家族に、アルコールやギャンブル、薬物などの問題（依存）をもつ人がいた

	n	%
はい	988	14.3%
いいえ	5933	85.7%
合計	6921	100.0%

家族に何らかの依存をもつ人がいたという人は14.3%。

家族内で、自殺をした人がいる

	n	%
はい	294	4.2%
いいえ	6627	95.8%
合計	6921	100.0%

家族に自殺者がいたという人は4.2%。

96 性被害（12 歳以前、思春期以降）、被脅迫、脅しの経験

Q. 以下の経験があるか教えてください。

12 歳以前に、年上の相手から性行為を求められたり、強制されたりしたことがある

	n	%
1回だけある	449	6.5%
2回以上ある	374	5.4%
ない	6098	88.1%
合計	6921	100.0%

12歳までの性被害経験は、約12%があると回答。

思春期以降、自分が望まない性行為を強制されたことがある

	n	%
1回だけある	537	7.8%
2回以上ある	478	6.9%
ない	5906	85.3%
合計	6921	100.0%

思春期以降の性被害経験は、14.7%があると回答。

セクシュアリティを理由に、バラすと脅されたりしたことや、金銭を要求されたりしたことがある

	n	%
1回だけある	309	4.5%
2回以上ある	92	1.3%
ない	6520	94.2%
合計	6921	100.0%

回答者の約6%が脅迫や金品を要求された経験がある。

その他の経験

97 職務質問をうけた、逮捕された、住む場所がない、セックスワークの経験

Q. 以下の経験があるか教えてください。

これまでに職務質問を受けたことがありますか？

	n	%
過去6ヵ月間にあった	493	7.1%
6ヵ月以上前にあった	2313	33.4%
一度もない	4115	59.5%
合計	6921	100.0%

約4割があると回答。

これまでに逮捕されたことがありますか？

	n	%
過去6ヵ月間にあった	44	0.6%
6ヵ月以上前にあった	279	4.0%
一度もない	6598	95.3%
合計	6921	100.0%

逮捕された経験は、4.7%があると回答。

これまでに住む家がなくなった経験がありますか？

	n	%
過去6ヵ月間にあった	51	0.7%
6ヵ月以上前にあった	310	4.5%
一度もない	6560	94.8%
合計	6921	100.0%

これまでにセックスをすることで金銭を受け取ったことがありますか？

	n	%
過去6ヵ月間にあった	285	4.1%
6ヵ月以上前にあった	1285	18.6%
一度もない	5351	77.3%
合計	6921	100.0%

セックスワークの経験は、22.7%があると回答。

63 の解説

Q　HIV 感染に気づいている人は、治療を継続することで血液中からウイルスがほとんど見つからなくなる

A　私たちが 2013 年に実施した HIV 陽性者の生活実態を調べるための全国調査（回答者 1,100 人）の結果では、回答者全体の 95％が抗 HIV 薬の服薬中でした。また、回答者全体の約 70％の人が血液検査の結果、ウイルスが検出限界以下（血液中から HIV が見つからないレベル）でした。

HIV 陽性者が多く通院する病院の医師たちによると、より高い割合で血液中から HIV が見つからないレベルまで抑え込むことに成功していると聞きます。やがて精液などの体液中からも HIV が見つからないレベルに減少するといわれています。

ですので、自らの感染に気づき、抗 HIV 薬の服薬をし、HIV を検出限界以下に抑えている HIV 陽性者から、他者への感染の可能性は非常に低いことが分かっています。

Q　性感染症（HIV 以外）にかかっていると、HIV に感染しやすくなる

A　クラミジア、梅毒などの性感染症にかかっていると、HIV への感染の可能性がより高くなることが指摘されています。性感染症にかかると粘膜に炎症がおこり、出血がしやすくなったり、HIV がとりつくことのできる白血球（CD4 陽性 T リンパ球）が集まってきたりして、感染がおこりやすくなるといわれています。

Q　HIV に感染しても、早期に治療を開始すれば、長く生きられる

A　感染している人と、感染していない人の寿命の差が小さくなっていることが報告されています。
感染している場合にも、早期に治療を開始して、継続していくことによって、定年や老後の生活を積極的に検討していけるような抗 HIV 薬による治療技術が開発されています。

Q　HIV の治療費を低く抑えることができる社会制度がある

A　薬害エイズ裁判の和解により、1998 年 4 月から、HIV 陽性者は身体障害者認定の対象になりました。それにより、医療費を低く抑えるための医療費の助成制度を利用できるようになりました。
前年度の所得に応じて自己負担の金額は違いますが、健康保険と障がい手帳による医療費助成制度（自立支援医療）を併用した場合、平均的なサラリーマンの場合、医療機関／院外薬局の支払いを合わせて、月額 1 万円が自己負担の上限額となっています。通院の頻度も、最初は 2 週間～月に 1 度、安定すると 2 ～ 3 ヶ月に一度になることが多いので、その度にこの金額を自己負担することになります。

参考：「制度の手引き」関東甲信越 HIV/AIDS 情報ネット（新潟大学医歯学総合病院 感染管理部）

Q　通院し治療を受けても、HIV のプライバシーは守られ、役所、病院などから職場や学校に勝手に伝わらない

A　健康保険を利用しても勝手に病名が職場や学校、家族に伝わることは、基本的にはありません。健康保険組合と会社は別組織です。健康保険法、個人情報保護法などで勝手に個人情報を職場に伝えることが禁じられています。また、医療従事者には守秘義務があり、罰則規定も存在します。

Q　セックスの相手が HIV に感染している場合でも、感染に気づき治療を継続している場合には、感染の可能性は非常に低くなる

A　HIV 陽性で治療を継続している場合、多くの場合、血液中からウイルス（HIV）が見つからないレベルになります。最近、世界中で行われている調査でも、見つからないレベルに HIV を抑えることに成功していれば、ほぼ感染は起こらないと報告されています。もちろん、他の性感染症などが存在することもあるため、お互いの健康のためにコンドームの使用を続けることが基本になります。

Q　HIV 感染に気づかずにいると、セックスを通じて体内のウイルスを誰かにうつすことがある

A　日本の国内に HIV 陽性者が何人いるのかは、実際のところ分かりません。医師から厚生労働省に報告されているのは、2万6千人（2016 年 6 月）います。しかし、HIV に感染しているのに、自分でその事実を知らないでいる人もいます。コンドームを使ってセックスをしていればHIV 感染のリスクを大幅に減らすことができますが、コンドームを使わないセックスをした場合には、知らない間に相手にウイルスを渡してしまう可能性があります。

Q　オーラルセックスでの HIV の感染のリスクは低いが、ゼロではない

A　NPO 法人ぷれいす東京は HIV 陽性者、パートナー、家族向けのフリーダイヤルの電話相談を運営しています。毎年 200 ～ 300 人の HIV 陽性者から新規相談があります。相談のなかでは、感染経路をお聞きすることもあります。なかには、アナルセックスはしたことがないが感染している、というゲイ男性も、数は多くありませんが存在します。もちろん、注射の回し打ちもしていないとのことです。

「フェラチオだけで HIV に感染するの？」とびっくりする人もいるかもしれませんが、実際にそのようなことはあるようです。ではどうしたらよいのでしょうか？いくつか HIV 感染の可能性を低くする方法があります。

1：最も安全な方法はコンドームをつけてフェラチオをすることです。もし、それが難しい場合には、2：あなたの口の外に相手に射精してもらう。3：喉に炎症がある、口内炎がある、虫歯の治療痕があるときなど、コンディションが悪いときには、行為を控えるなどがあります。フェラチオをされる側、つまり舐められる側は、HIV の感染の可能性はほとんどありません。

Q　先進国では HIV の主な感染ルートは男性同性間のセックスによるものである

A　イギリス、アメリカ、ドイツなどの先進国の多くは、男性同性間のセックスが主な感染経路になっています。また、アジアの国々、フィリピン、タイ、台湾、韓国、中国などでも男性同性間のセックスによる感染の広がりが報告されています。日本では、毎年約 1,000 人の男性が「男性との性行為」で新規に感染していると報告されています。

Q　コンドームを使用することで、HIV だけでなく、他の性感染症のリスクも減らせる

A　コンドームだけで、性感染症のすべてを予防することはできませんが、感染の可能性をかなり低下させることができます。これは、病原体を含んだ精液や膣分泌液、直腸粘液などの体液が粘膜にふれることを防ぎ、病原体が侵入することを防ぐからです。

参考：「STI　性感染症ってどんな病気？」東京都福祉保健局健康安全部
参考：「コンドームの達人こと、医師・岩室紳也によるコンドームの正しい着け方。」

「LASH -Love Life and Sexual Health-」 http://www.lash.online/
主にゲイ、バイセクシュアル男性（MSM）を対象に、LOVE ライフ、セクシュアルヘルス（性の健康）、メンタルヘルス（こころの健康、薬物使用など）に関する情報を発信する Web サイト

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「LASH 調査」報告書

編集：生島　嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
野坂祐子（大阪大学大学院）
山口正純（武南病院）
三輪岳史（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
大槻知子（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
林　神奈（サイモンフレイザー大学）
井上洋士（放送大学）
仲倉高広（京都大学大学院）
大島　岳（一橋大学大学院）
藤田彩子（東京大学大学院、特定非営利活動法人ぷれいす東京）
及川千夏（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
若林チヒロ（埼玉県立大学）
樽井正義（特定非営利活動法人ぷれいす東京）

〒 169-0075
東京都新宿区高田馬場 4-11-5 三幸ハイツ 403
特定非営利活動法人ぷれいす東京 研究事業部
URL: http://www.chiiki-shien.jp/
Mail: kenkyu.jimu@gmail.com

本報告書は、平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「地域において HIV 陽性者と薬物使用者を支援する研究班」（研究代表者：樽井正義）分担研究「MSM の薬物使用・不使用に関わる要因の調査」（研究分担者：生島嗣）により制作しました。

2017 年 11 月発行

※データを引用される際にはご一報ください。